

晩抽性、耐病性に優れ、障害が少なく作りやすい夏用青首ダイコン!

(カネコ交配)

ダイコン

しよ

か

かぜ

初夏の風

Radish, Syokanokaze Hybrid



カネコ種苗株式会社

TEL. 027(251)1611(代)

晩抽性、耐病性に優れ、障害が少なく作りやすい夏用青首ダイコン!

(カネコ交配)
ダイコン

しょ か かせ
初夏の風

Radish, Syokanokaze Hybrid

●特 性●

- (1) 根形は総太り型、肥大がややおとなしい夏用品種です。適作型での根長は35cm程度となります。
- (2) 首部は鮮緑色、横シマ症などの肌の障害が少なく、ひげ根は細いです。
- (3) す入りは遅く、耐病性(萎黄病、ウイルス病など)に優れ、裂根や生理障害(赤芯・黒芯など)の発生は少ないです。
- (4) 晩抽性で、草姿はやや立性、草勢は中程度です。
- (5) 作型は冷涼地の5月まきマルチ栽培～7月まき露地栽培、中間地・暖地の3月下旬～4月まきマルチべたがけ栽培及び8月下旬～9月初旬まき露地栽培に適します。

●栽培要点●

- (1) 排水の良い畑が望ましい。
作土が深く、排水の良い畑にするために深耕ロータリーやサブソイラーの利用が効果的です。また、有機物の施用や緑肥の作付けなどによる土壌の改善も重要です。
- (2) 生理障害対策
春～初夏まきは生理障害(赤芯・黒芯症などの内部障害)の発生しやすい時期なので、ホウ素などの微量元素やリン酸資材の施用を十分に行います。地温を下げるマルチの使用も効果的です。また、収穫適期を過ぎると生理障害が発生しやすくなるため適期収穫を心がけます。
- (3) 施肥
窒素分が多過ぎると首部の傷みや割れ、

軟腐病の発生原因となるため、窒素はやや少なめに施用します。

☆窒素施用量(N成分量)の目安

【春～初夏まき】N: 3～5kg/10a

【秋まき】N: 6～8kg/10a

以上の目安に前作の残肥や土壌の肥沃度を考慮して調整します。リン酸、カリウムは10kg前後/10a施用し、微量元素の補給は十分に行います。

(4) 病害虫防除

春、秋ともに病害虫の発生が多くなる時期ですのでこまめに防除を行います。

播種時に粒剤を土壌混和し、キスジノミハムシやタネバエなどの虫害を予防します。また、生育初期から殺菌剤と殺虫剤を散布し、細菌病、アブラムシ、キスジノミハムシなどの病害虫を防除します。

未熟な有機物は病害虫の発生を助長する場合がありますので、堆きゅう肥施用や緑肥のすき込みは、最低でも1ヵ月以上前に十分に腐熟させます。

●栽培作型●

	3	4	5	6	7	8	9	10	11
冷涼地			○ マルチ	○ マルチ	○ マルチ	○ マルチ	○ マルチ	○ マルチ	○ マルチ
中間地 暖地		○ マルチべたがけ	○ マルチ	○ マルチ	○ マルチ	○ マルチ	○ マルチ	○ マルチ	○ マルチ

○ 播種期 — 生育期 ■ 収穫期 ~~~~ ベたがけ

カネコ種苗株式会社

〒371-8503 前橋市古市町1-50-12

TEL. 027(251)1611(代)

一般社団法人
日本種苗協会
会員番号 10-001号

取扱店